



内野安彦氏講演会

「今、あらためて図書館を考える」

長引く出版不況、出版社・取次・書店の悲鳴は止まない。そんな中、2015年から再び図書館の選書やサービスの在り方の論議がかまびすしくなった。図書館員が出版文化を守るために地域で意識しなければならぬこと、そして出来ることとは何か。

日 時：2017年6月26日（月）13:30~16:30

場 所：塩尻市市民交流センター（えんぱーく）
3階多目的ホール

定 員：60名（先着順）

参加費：無料

申し込み開始：6月11日（日）

お電話または図書館本館（えんぱーく）総合カウンターで
お申し込みください。0263-53-3365（水曜休館）

当日は、講演会終了後に著書の
販売とサイン会があります。

また、17:30より懇親会を予定
しています。ご希望の方は、
申し込み時にお知らせください。

『内野安彦氏 プロフィール』

茨城県鹿嶋市に28年、長野県塩尻市に5年奉職。うち図書館に14年携わる。現在、常磐大学、熊本学園大学、同志社大学大学院で教鞭を執りながら、FMラジオのパーソナリティ、日本図書館協会認定司書審査会委員等も務める。

主な著書：『だから図書館めぐりはやめられない』『図書館はラビリンス』
『図書館長論の試み』『塩尻の新図書館を創った人たち』
『図書館はまちのたからもの』『クルマの図書館コレクション』
『ちょっとマニアックな図書館コレクション談義』『ラジオと地域と図書館と』『図書館制度・経営論』等



主
企
画
後

催
問
援

塩尻市・塩尻市教育委員会

長田 洋一（編集者・元河出書房新社『文藝』編集長）

永井 伸和・山野 浩一・常世田 良

塩尻書店組合・長野県図書館協会・信州大学・松本大学・朝日新聞松本支局・信濃毎日新聞社・市民タイムス・中日新聞社・長野日報社・毎日新聞松本支局・松本平タウン情報・読売新聞長野支局・エルシーブイ(株)・テレビ松本ケーブルビジョン・a b n 長野朝日放送・NBS長野放送・NHK長野放送局・SBC信越放送・TSBテレビ信州・日本ハイコム(株)